



# 『ゆざわざわざわゆざわざわ』創刊



阿部 俊介 副部長



湯沢の  
隠れた名物なども紹介！

ローカルな場所にもスポットを当てた、深くユニークな内容が詰まった  
情報発信ツール『ゆざわざわざわゆざわざわ』

## オール湯沢で 冊子制作を開始

秋田県湯沢市は人口約4万6000人。山形県、宮城県に隣接する県の最南東部に位置し、両県とは国道13号線、108号線および398号線が結ばれている秋田県の南の玄関口となっています。湯沢市は2005年に4市町村が合併し、それともない3町村の商工会も合併。「ゆざわ小町商工会」が誕生しました。

当地域には「小安峡温泉」や「秋の宮温泉郷」などの良質な温泉地や、2012年に日本ジオパークに認定された「川原毛地獄・川原毛大湯滝」「小安峡大噴湯」などの観光地が点在するほか、日本三大うどんの一つである「稲庭うどん」や、国の伝統的工芸品に指定されている「川連漆器」や「秋田仏壇」な

どの伝統的地場産業も盛んな地であります。また、市民の生活に根ざした「七夕絵どうろう」などの祭りや地酒づくり、歴史的建造物など地元ならではの魅力的なものも多く存在します。このように魅力があつて誇れるものが多い湯沢市ですが、情報発信不足により全国に対して十分なPRができていないのが現状でした。その打開策として青年部員から「自分たちで湯沢市の魅力を全国に発信しよう」と提案があり、「湯沢のいいもの100選」を集めることから始め、そこから情報発信ツール『ゆざわざわざわゆざわざわ』の編さんがスタートしました。PRしたいものが湯沢市全域に存在することから、同じ青年団体としてこれまでも事業連携を行ってきた湯沢商工会議所青年部と湯沢青年会議所の協力も得て実行委員会を組織し、オール

## 全青連からの報告 全国青年友好団体 トップ会議を開催

全国商工会青年部連合会、日本商工会議所青年部、全国中小企業青年中央会、日本青年会議所の4団体が、継続的な交流・連携を促進するため2010年に締結書を交わして発足した「全国青年友好団体」。そのトップ会議が9月3日、広島県江田島の海上自衛隊第1術科学校で開催された。10月29日に開催される全国事業継承サミットに関連することや、全国青年友好団体の今後の方向性などに関して協議が行われた。



全国青年友好団体トップ会議 in 江田島

## 全国商工会 青年部連合会

公式HPはこちら



冊子の名称は、掲載する写真の選定中に部員の1人が「ざわっとする」感覚にとらわれたことから、湯沢市の「ざわ」にかけて名づけられた



ジャンルを問わず、部員が魅力的だと思うものやスポットが、冊子に掲載されている

## 壮大な記録絵巻風の 冊子が完成

湯沢で冊子製作に取りかかりました。

まずは湯沢のいいものを100種類掲載することを目標に掲げ、観光雑誌などに掲載されている温泉地や観光地、名物や伝統的工芸品だけでなく、これまで取り上げられていない湯沢の隠れた名所や名物なども紹介。湯沢に暮らす若者たちが心の中にこっそりしまっている「日常の不思議（ユニークな名称や不思議な看板など）」を聞き出し、ローカルな場所にもスポットを当てた、深くユニークな内容となっており、湯沢のあらゆる魅力を取材して完成した壮大な記録絵巻風の冊子になりました。

取材は実行委員である青年部員一人ひとりが記者となり、カメラマンとなり行われ、「人」「モノ」「文化」などジャンルを問わず部員が魅力的だと思うものにスポットを当てました。時間と手間ひまをかけて「湯沢のいいもの100選」を選定し、手づ



湯沢市長（左から2番目）にも創刊を報告